

君の労働運動は徒らに都市工業労働者の運動を模倣するも決して成功覚束ないものである。諸君は諸君獨特の地位を自覺し獨特の運動方法を探らねばなるまいと信する。我等の組織する全國坑夫組合の根本趣旨も亦是に外ならない。

吾人は茲に我國坑夫の労働運動について我同志の見解を發表し諸君の批判に訴へんと欲する。先づ日本の労働運動は如何なる性質を有するやといふ問題から説き起すであらう。

## 第一章 日本の労働運動

### 一 労働運動とは何ぞ

労働運動とは何か。どこの國の労働者にもあるが、近時我國労働者の間には單に賃銀の値上や時間の短縮を資本主に迫ることばかりを労働運動と心得てゐる一派がある。勿論賃銀値上や時間短縮は大切なことである。然し其れは手段であつ

て決して最後の目的ではない。

労働運動の眞の目的は生存權の主張といふことなのである。凡そ労働は貴いものである。すべての價値の本源である。労働なければ社會は非常に寂しきものとなり進歩が止るのである。労働者はかゝる貴い任務をなすものであるから充分に生存權を社會に向つて主張し、我がこの正當の要求を妨ぐるものあらば堂々と是に對抗し最後の目的を貫くべきである。これが労働運動の眞の意味である。

今日、労働者の地位は甚だ低い。從來、不都合にも労働者に對し下等社會といふ名が與へられてゐた。因襲の久しき、労働者も亦此不當の待遇に甘んじてゐたのである。生産者たる労働者が今日の如く劣等なる衣食住、不完全なる智識、貧弱なる精神生活に甘んぜねばならぬ理由がどこに在るか。労働運動は是等の不當なる待遇を打破し、生産者の地位を確實にし、生存權を確認せしむることを謂ふのである。かゝる根本要求を有してこそ、賃銀値上や時間短縮の運動は生きたる